

ライフステージ別の留意点

① 現役期

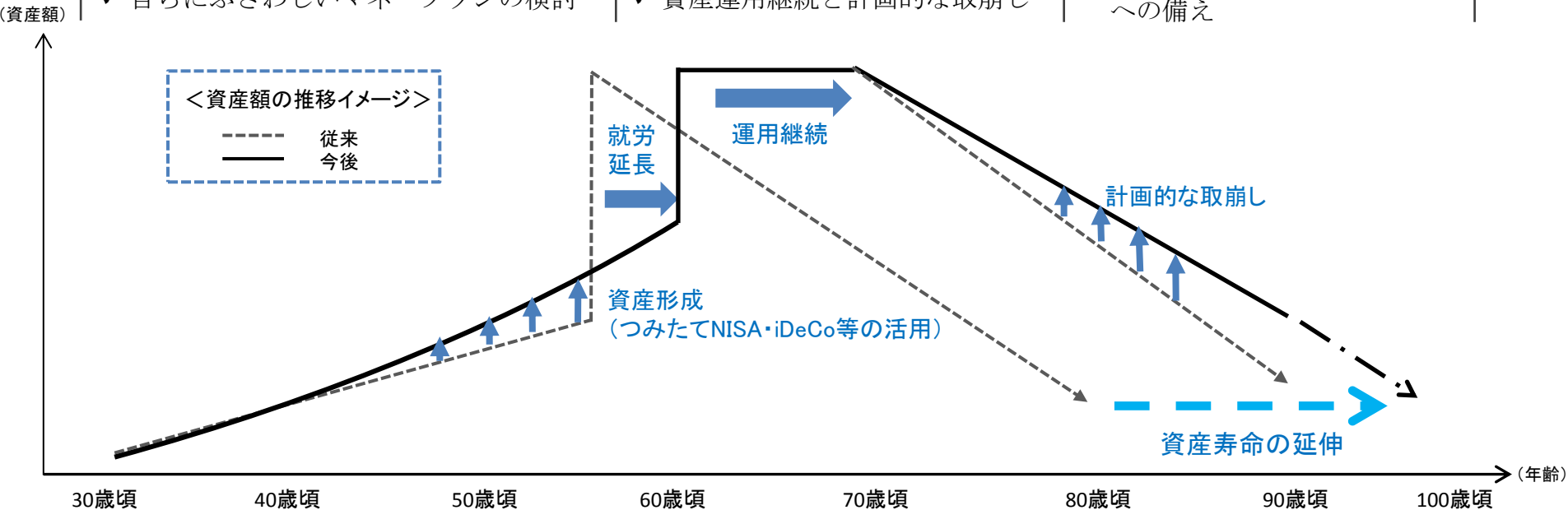
- ✓ 早い時期からの資産形成の有効性の認識
- ✓ 少額からでも長期・積立・分散投資などによる安定的な資産形成
- ✓ 自らにふさわしいマネープランの検討

② リタイア期前後

- ✓ 退職金がある場合、それを踏まえたマネープランの検討
- ✓ 就労継続や収支の改善策の実行
- ✓ 資産運用継続と計画的な取崩し

③ 高齢期

- ✓ 心身の衰えを見据えたマネープランの見直し
- ✓ 認知・判断能力の低下・喪失への備え



資産寿命を延ばす顧客の行動をサポートするため、金融サービス提供者に求められる対応

- ・ 顧客本位の業務運営 (顧客にふさわしいサービスの提供、手数料の明確化、分かりやすい説明等)
- ・ 持続可能なサービス (サービスに見合った適切な対価の設定と説明)
- ・ 「自助」充実のニーズ増に応じた資産形成・管理やコンサルティング機能の強化

等

行政や業界団体などによる環境整備 (資産形成制度の充実、高齢顧客保護など)